

2022(令和4)年度 入学式式辞

桜の花も咲き誇る今日の佳き日、ご来賓ならびに多数の保護者のみなさまをお迎えして、ここに令和4年度の入学式を挙行できますことは、本校教職員ならびに在校生一同の大きな喜びであり、ご臨席のみなさま方に対し、心から御礼申し上げます。

ただいま、170名の本科入学生、第4学年への編入生2名、ラオスからの留学生1名ならびに専攻科に進学する47名、以上220名の入学を許可いたしました。

新しく入学あるいは進学された皆さん、ご入学、おめでとうございます。晴れの門出を前に、新しい生活に少し不安を抱きながらも、今日の日が待ち遠しかった人も多いのではないかと思います。呉高専は、みなさんを心から歓迎いたします。

まず、私から自己紹介をさせていただきます。今年度から、前任の篠崎校長先生の後任として、新たに校長を拝命しました。餘利野です。今まで大学教員をしており、特に電力・エネルギー関係の仕事をして、日本のエネルギー産業界や大学とは強い繋がりを持っています。これからは、産業界や大学、地元の方々と連携しながら、我々教職員一同で皆さんを育て、本学の発展に寄与してまいります。これから皆さんが卒業するまで、一緒に生活し、一緒にいろいろな事を経験して行きたいと思っています。

私からは、これから踏み出そうとする未知の世界へ、大きな期待をもっておられる皆さんに、次のエールを贈りたいと思います。

Realize Your Dream。これは本校が掲げているキャッチフレーズです。直訳すると「君の夢を実現しろ」ですが、「君の未来を共に創る」と説明されているようです。実に素晴らしい言葉だと思います。夢というのは是非そうやってほしい、あるいはそんなことが起こってほしいという願望ですが、願望がなければ何も始まりません。したがって、まず夢を持たなくてはならないのですが、それ自体がそれほど簡単ではありません。多くの皆さんは、まだ自分の夢を描けていないと思います。もしすでに夢を持っている人がいたら、その人は、今の段階で人より一歩抜きん出ているかもしれません。しかし、いまの夢が人生の中で変わっていくかもしれません。是非、学生生活を通して、自分が将来こんな事をしたい、こうなりたいという夢を見つけ、未来像を描けるように、考えてほしいと思います。

現在、世界では気候変動、食料危機、エネルギー問題、新型コロナウイルス感染症、国際紛争の拡大など地球規模の深刻な問題が生じてきています。最近のウクライナの状況には、深く心が痛みます。日本は世界の問題に加えて、少子高齢化、労働者人口の減少、多発する自然災害などにも直面しています。課題解決のために、全国民があらゆる分野の知を結集して取り組む必要があります。そして、そのためには確固たる基礎学力をベースに知識を総合化し、地球的視点で多様性をもち、ものごとの本質を考えることができる優秀な技術者が不可欠です。

私は、電力・エネルギー問題に深く関与してきたので、特に脱炭素化社会の実現とインフラを含む国土の強靱化は緊急の課題であると認識しています。これらの人類共通の課題解決のためには、産業界、自

治体、地域社会での実践的な取り組みが必要とされることから、優秀な技術者を育成する場であるこの高専と、実践力のある高専の卒業生には多くの期待が集まっています。私は大学教員を経験して、実践力のある優秀な人材が各所で強く求められていることを感じます。したがって、皆さんには高専を卒業すると企業からは引く手あまたになると思います。また卒業後、専攻科に入学し、そこから就職することもできますし、さらにその上の全国の大学院への進学も期待されています。私のごく身近にも高専卒の大学教授や研究者が多数います。夢はひとりひとり違うはずですが、皆さんが夢を描けば、ひとりひとりに素晴らしい将来が見えてくると思います。

さて、呉高専はじつに恵まれた環境にあると思います。呉の地は、かつては東洋一の技術力を有した独特な、光り輝く地に見えます。戦艦大和の建造はあまりにも有名ですが、当時の高い技術が各所に伝承され、日本が技術立国としての立場を確立できたと思っています。瀬戸内の気候は温暖であり、交通のアクセスもよく、キャンパスは広々としています。皆さんにはこういった環境をうまく利用して、夢を描き、夢に向かって、自らいろいろな取り組みをしてほしいと期待しています。皆さんには己の可能性を信じて、己を磨いていただきたいです。そして、皆さんの未来をこのキャンパスで育み、夢の実現に邁進していただきたいです。

実は、私自身にも、夢があります。この場ではあまり語れませんが、高専・大学・企業・自治体がまとまって協力し、世界・日本のエネルギー問題や地域の課題解決に取り組むプロジェクトを構築したいと思っています。まだ構想の段階ですが、本当に実現できれば、呉高専が核となり関係者全員がウインウインの関係で幸せになれる、そういうプロジェクトにしたいと思っています。私自身の夢として、皆さんの可能性を最大限に拡大できる、そういう環境を提供できるように頑張りたいと思っています。

最後にわれわれ本校の教職員は、皆さんの可能性が最大限に発揮されるよう全力でサポートしますので、皆さんは己の可能性を信じて、己を磨いていただきたい。このことを祈念して、式辞といたします。

令和4年4月3日
呉工業高等専門学校長
餘利野直人